

(平成 29 年 7 月 10 日集計)

I. 概 況

内閣府が 6 月 22 日に公表した月例経済報告で、「景気は、緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。」としている。

一方県内中小企業では、製造業では前月比の DI 値(景況、売上、収益、資金)全てが改善したが、非製造業では前月比の DI 値(景況、収益、資金)が悪化した。今月も人手不足の影響や収益環境の悪化などを懸念する声が多く聴かれ、県内中小企業の経営環境は依然として厳しい状況が続いている。

II. 業種別状況等

<製造業>

① 食料品

全体としては、前年売上をクリアした模様。ただ、店舗については、6 月の客の入り具合が芳しくなかったとの話もあります。

② 木材・木製品

新規の見積もりが出てこない。この先もジリ貧か。

③ 印刷

先月に比べると総会関連の仕事で少し動いたが、以前に比べると件数が少なく、期待外れ感が強く感じられた。

④ 鉄鋼・金属

海外の大口案件はなく、国内の中規模案件がある。日々の受注は安定した受注が続いているので、極端に減少することは無いと推測する。

⑤ 一般機器

前月、前年同月ともに僅かながら売上は増加しました。予定作業の入れ替え、短納期への対応で繁忙感はあるものの、売上には繋がっていないのが現状です。

⑥ 輸送機器

売上高前月比については、14.8%減少となりました。仕事量は輸出関係が堅調ですが、国内はやや減少傾向にあります。また、売上高前年比については、2.7%減少しました。

<非製造業>

⑦ 卸売業

昨年加入した新規組合員による影響とチリメンの大量入荷が、取扱高の増加に繋がっている。

⑧ 小売業

前年同月比の売上はわずかに増加しているが、まだまだ厳しい状況であることには変わらない。

⑨ 商店街

GWの売上があまり上がらなかった為、5月に比べて売上の落ち込みは少なかった。

⑩ サービス業

少し上向きの状況に思えるが、中々目に見えるまでは行かない。

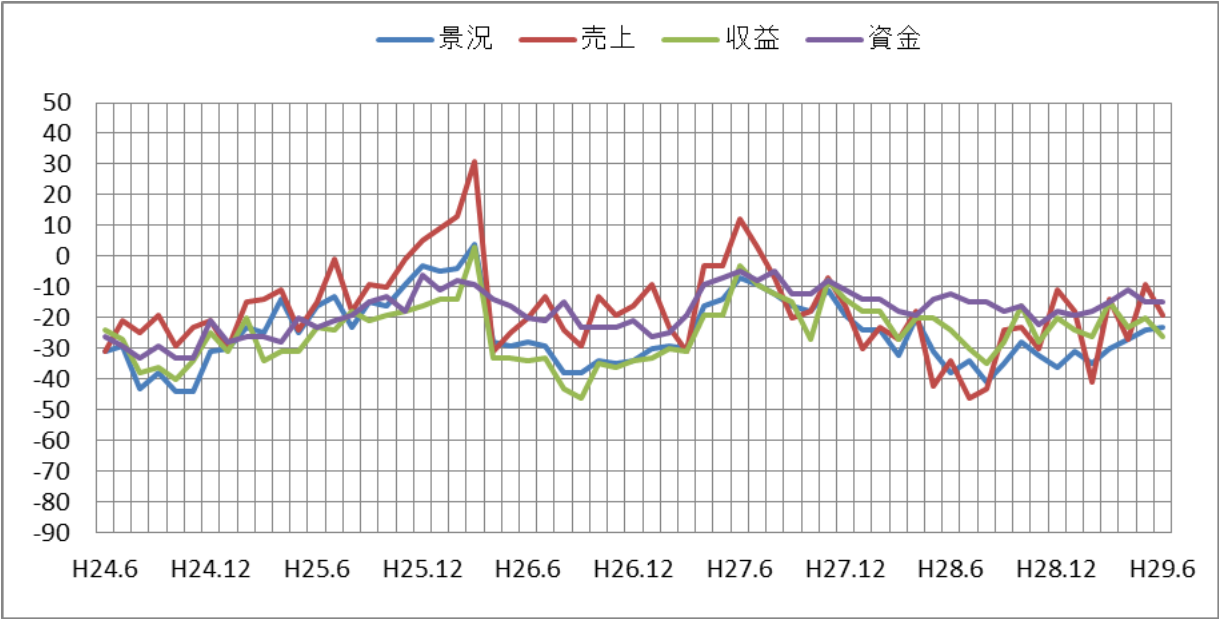
⑪ 建設業

6月第1週が水道週間であった為、市内5ヶ所で水道局とタイアップイベントを開催しました。多くの市民に当組合をPRでき、良いイベントとなりました。

⑫ 運輸業

取扱数量は久しぶりに前年同月数量比107.6%と前年を上回ったが、前年同月比価格では約5円高い価格となった。高速道路関係では、車両制限令違反による大口・多頻度割引停止措置が4月以降非常に厳しくなっており、事業所・協同組合ではその対応に神経をすり減らしている状況である。総重量を守っていても貨物の積み方により軸重違反を取られたり、積み荷によって荷主が言っている重量が正しくなくて過積載を取られたりと、運送会社だけ責任を取られ積み重になると協同組合の連帯責任となる厳しすぎる措置であり、早急に制度の見直しをしてもらいたいものである。

景気動向（前年同月比）の推移（D I 図）



項目 業種	景況	売上	収益	資金
製造業	-11%	-19%	-19%	-8%
非製造業	-35%	-19%	-32%	-22%
総合	-23%	-19%	-26%	-15%

製 造 業				
項目 業種	景況	売上	収益	資金
食料品				
繊維・同製品				
木材・木製品				
紙・紙加工品				
出版・印刷				
化学・ゴム				
窯業・土石製品				
鉄鋼・金属				
一般機器				
電気機器				
輸送用機器				
製造業その他				

非 製 造 業				
項目 業種	景況	売上	収益	資金
卸売業				
小売業				
商店街				
サービス業				
建設業				
運輸業				
その他				

【凡例】



快晴



晴れ



くもり



雨



大雨

基準(DI値)

30以上

10以上～30未満

-10以上～10未満

-30以上～-10未満

-30未満

【天気図の見方】 前年同月比のDI値をもとに作成しています。

【お問い合わせ先】

兵庫県中小企業団体中央会

担当：情報・総務部 情報支援課

TEL：078-331-2045

【全国版の月次景況調査について】

全国中小企業団体中央会が毎月 20 日頃に公表しています。

詳細は下記 URL をご覧ください。

<http://www.chuokai.or.jp/keizai.aspx>